

天栄村国民健康保険事業実施計画
(第2期データヘルス計画)
中間評価

令和3年2月
福島県天栄村

目 次

1. はじめに		
1) 中間評価の趣旨	1
2) 中間評価の方法	1
2. 個別保健事業の評価		
1) 特定健診未受診者対策事業	2
2) メタボリックシンドローム対策事業	3
3) 糖尿病性腎症予防対策事業	4
3. 第2期データヘルス計画全体の評価	5

1. はじめに

1) 中間評価の趣旨

天栄村国民健康保険事業実施計画(第2期データヘルス計画)は、平成29年度を策定年度とし、平成30年度から令和5年度を計画の対象年度として、計画に基づく各種保健事業を実施しています。本計画の中間年度にあたる令和2年度においては、平成30年度から令和元年度までに実施した事業の評価を行い、事業効果を高めるための改善策等を検討し、令和3年度から令和5年度の目標等の見直しを行います。

2) 中間評価の方法

中間評価・見直しにあたり、計画全体としての評価を行うため、個別保健事業計画に基づいて実施された事業の実績等を振り返り、計画の目的・目標の達成状況、指標の在り方について、データ分析等をもとに整理、評価を行います。

個別評価シートのなかで、「指標判定」「事業判定」については、A～Eの5つの区分により判定します。

※判定区分

- A:達成できている
- B:達成できていないが、達成の可能性が高い
- C:達成は難しいが、ある程度の効果はある
- D:達成は困難で、効果があるとは言えない
- E:評価困難

2. 個別保健事業の評価

1) 特定健診未受診者対策事業

①事業内容(現状)

目的	生活習慣病の早期発見、重症化予防 未受診者の受診行動促進、目標受診率の達成
具体的内容	【対象者】 特定健診未受診者 【実施内容】 ・特定健診未受診者への受診勧奨通知の送付 ・保健師による家庭訪問や電話による受診勧奨、状況把握
評価指標 目標値	【アウトカム】 特定健診受診率の向上 R5年度目標値 60%

②評価と見直し・改善案

評価指標	受診勧奨実施率(訪問勧奨)			特定健診受診率		
目標値	-			R 5年度 60%		
ベースライン	-			H28年度 42.7%		
経年変化	H29	H30	R1	H29	H30	R1
	-	58.2%	57.5%	46.7%	46.0%	46.9%
指標判定	A			B		
事業判定	B					
要因(うまくいった・うまくいかなかった要因)	【うまくいった要因】 保健師、事務担当間で定期的な打合せを実施し、未受診者の把握を随時行い、未受診者の半数以上について訪問勧奨を実施できた。 【うまくいかなかった要因】 日中不在が多い40代～50代の若年層の訪問勧奨が困難。また、年1回の受診勧奨通知では、若年層や健診未経験者の受診行動促進に結び付かなかった。					
見直しと改善の案	若年層や健診未経験者の受診率向上につながるよう、より見やすく分かりやすい受診勧奨通知の内容を検討する。また通知回数を増やす。 訪問勧奨については、受診行動の定着化、また状況把握の上でも継続していく。					

③今後の事業計画

具体的内容	【対象者】 特定健診未受診者 【実施内容】 ・国保連合会委託事業を活用し、AI技術を活用した対象者の健康意識に合わせた受診勧奨通知の送付。年2回程度効果が高まる時期に実施。 ・保健師による家庭訪問や電話による受診勧奨、状況把握			
評価指標 目標値	【アウトカム】 特定健診受診率の向上 令和5年度目標値 60%			
年度計画	評価指標	R3	R4	R5
	特定健診受診率	54%	57%	60%

2) メタボリックシンドローム対策事業

①事業内容(現状)

目的	生活習慣病重症化予防 高リスク者の生活習慣の改善
具体的内容	【対象者】 特定健診受診者のうちメタボリック該当者で医療機関未治療者 【実施内容】 ・個別の生活習慣の問題・課題に応じた食事療法・運動療法等の保健指導を実施
評価指標 目標値	【アウトプット】 特定保健指導実施率 R5年度目標値 60% 【アウトカム】 メタボリックシンドロームの減少率 R5年度目標値 -25%(H20年度比)

②評価と見直し・改善案

評価指標	特定保健指導実施率			特定保健指導対象者減少率 ()内対象者割合		
目標値	R 5年度 60%			R 5年度 -25%(16.9%)		
ベースライン	H28年度 58.6%			H20年度 (22.5%)		
経年変化	H29	H30	R1	H29	H30	R1
	69.6%	72.2%	82.5%	-38.2% (13.9%)	-49.3% (11.4%)	-40.0% (13.5%)
指標判定	A			A		
事業判定	A					
要因(うまくいった・うまくいかなかった要因)	【うまくいった要因】 ・施設、ドック対象者の保健指導については、個別訪問により実施したため、個々の問題・課題に応じた指導ができた。 ・集団健診受診者の保健指導については、保健衛生協会に委託し、集団での保健指導を実施。村保健師が施設・ドック対象者の保健指導に専念できた。 ・健康チャレンジポイント事業と関連をもたせたことにより、双方の事業で一定の効果を得ることができた。					
見直しと改善の案	・施設健診医療機関への保健指導委託の検討 ・村国保診療所との連携					

③今後の事業計画

具体的内容	【対象者】 特定健診受診者のうちメタボリック該当者で医療機関未治療者 【実施内容】 ・個別の生活習慣の問題・課題に応じた食事療法・運動療法等の保健指導を実施			
評価指標 目標値	【アウトプット】 特定保健指導実施率 R5年度目標値 60% 【アウトカム】 特定保健指導対象者減少率 R5年度目標値 -25%(H20年度比)			
年度計画	評価指標	R3	R4	R5
	特定保健指導実施率	60%	60%	60%
	特定保健指導対象者減少率(H20比)	-	-	-25%

3) 糖尿病性腎症予防対策事業

①事業内容(現状)

目的	糖尿病患者の増加抑制 人工透析への移行防止
具体的内容	R1年度より須賀川医師会と連携し、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を実施。 【対象者】 特定健診受診者のうちHbA1c等の検査項目有所見者 【実施内容】 ・医療機関未受診者、糖尿病治療中断者に対する受診勧奨を実施 ・重症化予防対象者に対し、かかりつけ医と連携した保健指導を実施
評価指標 目標値	【アウトカム】 健診データ(HbA1c等)改善者数 R5年度目標値 10人

②評価と見直し・改善案

評価指標	受診勧奨者 医療機関受診率		保健指導実施率		健診データ(HbA1c等) 改善者数	
	目標値	-		-		R5年度 10人
ベースライン	-		-		-	
経年変化	H30 -	R1 70.6%	H30 -	R1 88.2%	H30 -	R1 10人
指標判定	A		A		A	
事業判定	A					
要因(うまくいった・うまくいかなかった要因)	【うまくいった要因】 ・保健指導については、保健師・栄養士の個別訪問指導を実施したため、個々の問題に応じた保健指導・栄養指導ができた。 ・健康関連グッズの配付や、健康教室を開催し、保健指導対象者の健康意識の向上が図れた。					
見直しと改善の案	現状維持					

③今後の事業計画

具体的内容	須賀川医師会と連携し、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を継続実施。 【対象者】 特定健診受診者のうちHbA1c等の検査項目有所見者 【実施内容】 ・医療機関未受診者、糖尿病治療中断者に対する受診勧奨を実施 ・重症化予防対象者に対し、かかりつけ医と連携した保健指導を実施			
評価指標 目標値	【アウトカム】 健診データ(HbA1c等)改善率 目標値 50%			
年度計画	評価指標	R3	R4	R5
	健診データ(HbA1c等)改善率	50%	50%	50%

3. 第2期データヘルス計画全体の評価

評価と見直し・改善案

評価視点	ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム	
評価指標	計画達成に向けた体制が確保され、関係者と連携が図れているか。	データを活用した現状分析と分析結果を活用した課題抽出ができていないか。	データヘルス計画上の保健事業が実施できているか。	健康寿命が延伸できているか。	医療費の適正化が図れているか。
現状分析	<p>【体制】 住民福祉課 ・住民生活係 国保担当1名 保健師(任用)1名 ・健康増進係 保健師2名 管理栄養士1名</p> <p>目標に対する進捗状況等を常に情報共有し、計画の進捗管理を行っている。</p> <p>【関係者との連携】 ・天栄村国民健康保険運営協議会</p> <p>毎年度の事業実施・評価にあたり助言を受けている。</p>	特定健診の結果やレセプトデータ、KDB等システムから抽出した統計情報を活用し、現状分析を実施。課題抽出を行っている。	データヘルス計画上で設定した事業はすべて実施している。	<p>平均自立期間(要介護2未満の期間)</p> <p>【計画策定時】 H28年度 男 77.8歳 女 83.1歳 (福島県平均) 男 78.4歳 女 83.1歳</p> <p>【中間評価時】 R1年度 男 78.6歳 女 81.9歳 (福島県平均) 男 78.6歳 女 83.4歳</p> <p>男性は延伸できているが、女性は延伸できていない。</p>	<p>1人あたり医療費点数</p> <p>【計画策定時】 H28年度 外来 1,669点 入院 1,010点 (福島県平均) 外来 1,502点 入院 980点</p> <p>【中間評価時】 R1年度 外来 1,783点 入院 1,357点 (福島県平均) 外来 1,636点 入院 1,123点</p> <p>医療費は増加傾向にあり、特に入院レセプト点数が高額化している。</p>
指標判定	A	A	A	B	C
事業判定	B				
今後の方向性	各保健事業の目標達成及び実績の向上を目指し、引き続き効果的な取り組みを実施する。特に事業判定が「B」となった個別保健事業については、事業の見直しと改善を実施し、目標達成を図る。				